

の大会が18日、那覇市久米の久米同進会館で行われた。久米同進会が主催し、今回で5回目。県内で象棋の普及活動をする象棋普及会が共催し、参加者が増えたことで、初めて一般の方で熱戦が繰り広げられましたが、これが出来てからもう少しで、トーナメント方式で熱戦が繰り広げられました。

一般的の部は、**盧姜威さん**が優勝。  
前回大会から連覇となつた  
**盧さんは**、「今年はここまで  
人数が増えて、にぎやかで  
うれしい。来年も優勝し  
て3連覇したい」と笑顔を見  
せた。女性の部で優勝した  
**仲村紗希さん(19)**は、「  
**霸市**は「もつと象棋を勉強  
したい」と謙虚に振り返つた。

及に努めてきた。仲村さんは「今日は中高生が多く参加してくれてうれしい」と手応えを感じていた。

中国将棋が沖縄に伝わり、象棋になつたことから、大会後には東洋言語文化学院の孟廣財理事から久米同進会に150セット、株式会社松達(南城市)の李楊龍取締役から100セットの象棋が同普及に寄贈された。

# 象棋大会に35人 一般で盧さんV

## 第5回 参加者増え、部門別に

の大会が18日、那覇市久米一般の部は盧姜威さん

(38) 同普及会の仲村顕代表は象棋が沖縄で見られなくなつたことに危機感を抱き、ことし8月に象棋の入門書を作製。博物館や公民館で教室を開き、普段に努めてきた。仲村さんは「今日は中高生が多く参加してくれてうれしい」と手応えを感じていた。

A group of approximately ten students, mostly boys, are sitting on the floor in a classroom, playing a board game. They are arranged in a circle, facing each other. The board game consists of a grid of small circles, some of which contain small pieces or tokens. The students are dressed in casual clothing, including hoodies and tracksuits. In the background, there are wooden shelves and cabinets, typical of a traditional Japanese classroom setting.

沖縄の伝統将棋「象棋」の試合に熱中する参加者ら  
＝18日、那覇市久米の久米同進会館